



# 1月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和5年1月10日

明けましておめでとうございます。

吹き抜ける風がますます冷たくなり、冬本番を迎えています。今冬は、「フルロナ」というインフルエンザと新型コロナウイルスに同時に感染する状態が懸念されています。症状としては、咳・鼻水・発熱・倦怠感・喉の痛みなど共通しています。園ではこれまで通り、検温・消毒・換気を徹底し、こどもたちにとって園生活が楽しいものとなるよう努めて参りますので、保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

さて今年も1月4日に、理事長先生より年頭のご挨拶があり、令和5年度の教育方針が発表されました。今年度の教育方針は『こどもたちが夢中になれる保育をしよう』です。昨年度の「楽しい保育を続けよう」に引き続き、年齢に応じた「あそび」を中心に、こどもたちの興味・関心に寄り添える保育環境づくりを心掛けると、こどもが夢中になれる保育につながるということです。昨年のクリスマス会では、年中・年長組さんはサンタさんから、学年に合わせたかたるプレゼントをいただきました。冬休みは、それぞれのご家庭で一家団欒、かるた遊びやお正月遊びを楽しまれたことと思います。これから園では、まずは年齢に応じたたこやこまを作って飛ばしたり、すごろくや福笑いなどお正月遊びを楽しみながら、こどもたちの様子を見て興味・関心を持った遊びの環境を整えて参ります。また、『こどもたちにも保護者にも安心・安全な環境を整える』ということで、園バス使用時の安全管理や出欠確認の徹底、新型コロナウイルス対応、固定遊具などの危険箇所の点検、自然災害などに備えての避難訓練を定期的に行うなど、引き続きこどもたちの安全確保に留意して参ります。

1月7日は七草でした。春の七草とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロです。7日に七草粥を食べると一年間無病息災で元気に過ごせると言われています。お正月に、つい食べ過ぎて疲れた胃腸にとってはやさしい食べ物です。これも先人の知恵なのかもしれませんね！

1月11日は、お正月にお供えしていた鏡餅を小槌でたたいて開く鏡開きです。「切る」や「割る」という言葉は縁起が良くないため、「開く」という言葉を使います。園では11日に職員室の神棚にお供えしていた鏡餅を、さくら組さんのお当番さんが小槌でたたいて開きます。細かくした餅はしばらくの間乾燥させ、後日給食の先生に揚げ餅にしてもらい、おやつにいただきます。

今年一年がこどもたちにとって、良い年になりますよう、どうぞよろしく願いいたします。



【🌸募集しています🌸】

※ 預かり保育を行っていただける方

(夕方、お預かりしているお子さんの保育補助?お世話?)

◦ 16時又は17時~19時

子どもが好きな優しい方、お問合せ又はご紹介ください。

◎ 松の実こども園 (TEL 29-2255)